

# 日々是Oracle APEX

Oracle APEXを使った作業をしていて、気の付いたところを忘れないようにメモをとります。

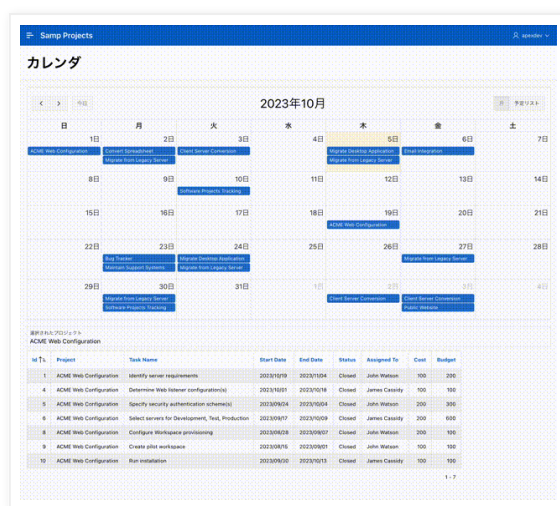
2023年10月5日 木曜日

## カレンダーとレポートを連携させる

Oracle APEXのカレンダー・コンポーネントでは、**表示列**として選択できるのは1つに限られています。

親子関係のあるレコード（今回は**プロジェクト**とそれに紐づく**タスク**を例として使用します）をカレンダーに表示する方法はないため、代わりにカレンダー上で親となるレコードを選択した時に、レポートにその子となるレコードを表示する実装を行なってみます。

Oracle APEXに含まれるサンプル・データ・セットを使って、**カレンダーにプロジェクトを表示させ、プロジェクトをクリックするとレポートにそのプロジェクトに紐づくタスクを一覧**します。



以下より、サンプル・アプリケーションの実装を紹介します。

最初に実装の元となるサンプル・アプリケーションを作成します。

アプリケーションの**作成**をクリックし、**ファイルから**を選択します。



**データのロード**として**コピー・アンド・ペースト**を選択し、**ロードするサンプル・データ・セット**として、**プロジェクトとタスク**を選択します。画面にサンプル・データが表示されます。

[illegible]

データのロード

このデータをどなたにロードしますか。

ロード先: 選択済 選択の先

表の所有者: WASP\_ANALYZE

表: SAP\_PROJECTS

ロードする列を選択してください。

スキーマ: スキーマ 選択

☒ 列のデータ型の推測

実行

プレビュー

1. タイプをインプリングするために最初の行を無視しました。次のプレビューには、最初の行および行のみが表示されます。列の内訳のより大きな500文字のみが表示されます。他のプレビューをスキップしてデータ・ロード設定を確認するには、「プレビュー」ボタンをクリックしてください。

1	Product	Task Name	Start Date	End Date	Status	Assigned To	Cost	Budget
2	ACME Web Configuration	Identify server requirements	04/01/2023	04/15/2023	Closed	John Watson	100	200
3	Maintain Support Systems	HR software upgrades	11/01/2023	11/05/2023	On Hold	Pam King	8000	1000
4	Maintain Support Systems	Apply Billing System updates	08/01/2023	10/04/2023	On Hold	Russ Sanders	9500	1000
5	ACME Web Configuration	Describe Web browser configuration(s)	04/01/2023	04/01/2023	Closed	James Cassidy	100	100

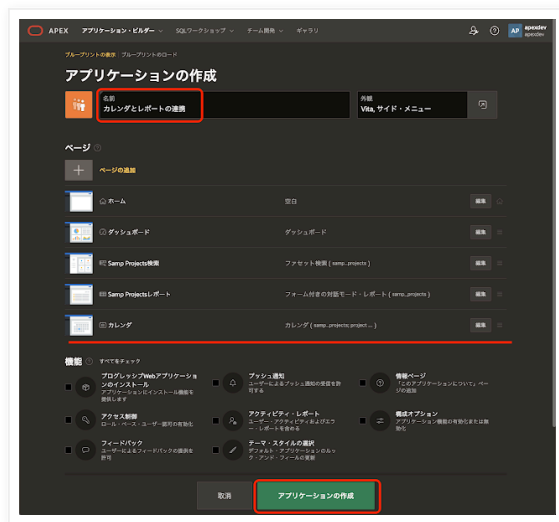
プレビュー

アプリケーションの作成を実行します。

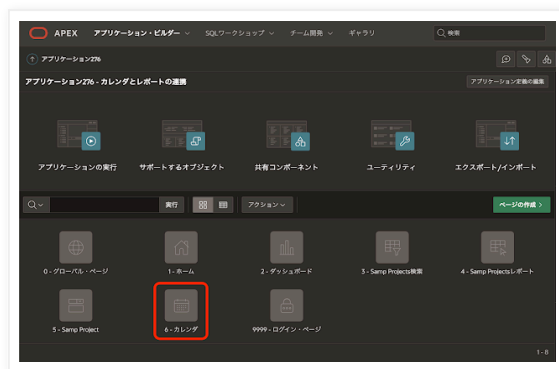
アプリケーション作成ウィザードが起動します。アプリケーションの名前をカレンダーとレポートの連携とします。他の設定は変更せず、そのまま使用します。

今回の実装は、カレンダーのページに実施します。

アプリケーションの作成を実行します。



アプリケーションが作成されたら、ページ・デザイナーでカレンダーのページを開きます。



これから、本記事の主題であるカレンダーとレポートの連携の実装になります。

最初に、カレンダー上で選択したプロジェクトを保持するページ・アイテムとして、P6\_PROJECTを作成します。

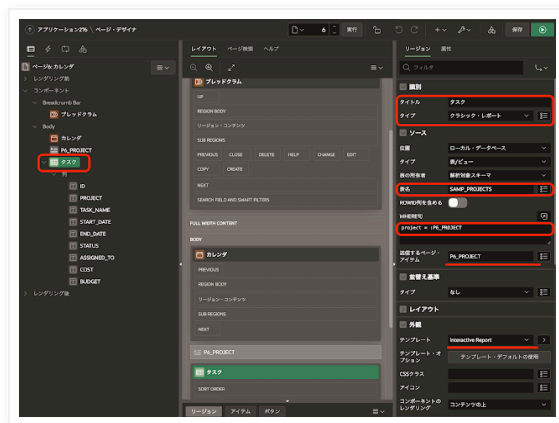
タイプは表示のみ、ラベルはプロジェクトとします。



選択したプロジェクトに紐づくタスクを表示するレポートを作成します。今回はレポートとしてクラシック・レポートを使用します。

新しくリージョンを作成します。**タイトル**は**タスク**、**タイプ**として**クラシック・レポート**を選択します。**ソースの表名**としてアプリケーションの作成時に作成した表（今回の例では**SAMP\_PROJECTS**）を選択します。レポートの表示を選択したプロジェクトで絞り込むため、**WHERE**句に**project = :P6\_PROJECT**を記述します。

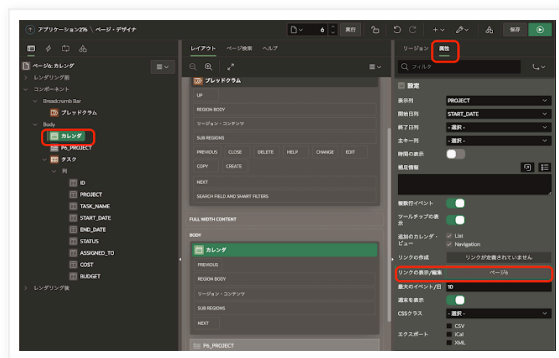
今回の実装では必要ではありませんが、**送信するページ・アイテム**として**P6\_PROJECT**を選択します（**送信するページ・アイテム**はリージョンをリフレッシュする際に使用されます）。また、レポートの見掛けを簡素にするため、**外観のテンプレート**として**Interactive Report**を選択します。



レポートの準備ができました。

左ペインの**レンダリング・ビュー**より**カレンダー**を選択します。右ペインの**プロパティ・エディタ**の**属性**を開きます。

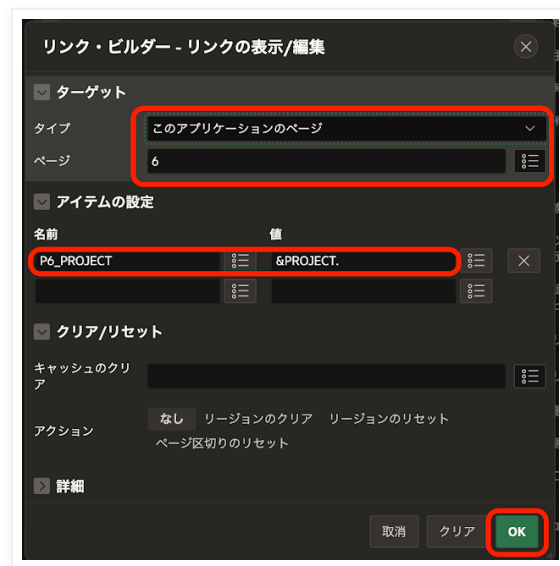
**設定のリンクの表示/編集**をクリックし、この値を編集します。



**ターゲットのタイプ**として**このアプリケーションのページ**を選択し、**ページ**として同じページ（カレンダーがあるページ）を指定します。通常は**6**です。

**アイテムの設定の名前**として**P6\_PROJECT**を選択し、**値**として**&PROJECT.**を設定します。カレンダー上でクリックしたプロジェクトの名前（これが**&PROJECT.**です）が、**ページ・アイテム P6\_PROJECT**に設定されます。

**OK**をクリックします。



以上で実装は完了です。アプリケーションを実行すると記事の先頭のGIF動画のように動作します。

今回作成したAPEXアプリケーションのエクスポートを以下に置きました。

<https://github.com/ujnak/apexapps/blob/master/exports/integrate-calendar-and-report.zip>

以上になります。

Oracle APEXのアプリケーション作成の参考になれば幸いです。

完

Yuji N. 時刻: 16:30

共有

<

ホーム

>

[ウェブ バージョンを表示](#)

自己紹介

**Yuji N.**

日本オラクル株式会社に勤務していて、Oracle APEXのGroundbreaker Advocateを拝命しました。こちらの記事につきましては、免責事項の参照をお願いいたします。

[詳細プロフィールを表示](#)

Powered by Blogger.